

平成19年度 第1回「『まち』とともに歩む学校づくり懇話会」を開催しました

10月31日(水)19時から本年度第1回「『まち』とともに歩む学校づくり懇話会」が開催されました。

この会は、学校と『まち』との相互理解や信頼関係に基づいて、開かれた学校づくりのため、学校の教育活動等について意見交換を行う場として設置されています。

- 1 本年度も、次の9名に委員が委嘱されました。
 - ・ 丸山台小学校PTA代表 ・ 丸山台中学校PTA代表
 - ・ 丸山台自治会代表 ・ いずみプラザ上永谷自治会代表
 - ・ 学校施設利用運営委員会委員長 ・ はまっ子チーフパートナー
 - ・ 丸山台小学校校長 ・ 丸山台小学校副校長 ・ 丸山台小学校総務部長
- 2 学校からは、次のことが説明されました。
 - ・ 丸山台小学校マニフェスト(中期学校運営計画)
 - ・ 横浜市教育委員会運営方針
 - ・ 本年度の丸山台小学校の教育活動と児童の様子
- 3 各委員から出され話題・意見は、次の通りです。

挨拶に関して

- ・ 学生は大きな声で挨拶をしている。小学校でやってきたことが定着してきているからではないか。「ありがとう」とお礼の言えない子がいる。外での指導と同様に、家庭での指導や躾も大切である。
- ・ 大人でも挨拶をしない人がいる。教師の中にも挨拶をしない人がいる。大人も教師も子どもの前で手本を見せることが大切だと思う。
- ・ 地域の部活動では、グラウンドに入る時と出る時に必ず「お願いします。」「ありがとうございました。」と挨拶している。挨拶をすると気持ちが良いことを教えたい。
- ・ 挨拶ではないが、今の子どもは、敬語を使う気がないようだ。是非、敬語も使えるようになって欲しい。

オープンスクールのアンケートに関して

- ・ 学校にとってつらい内容や厳しい内容を全部掲載したことに敬意を表したい。全部載せたことで、熱意や誠意は伝わったと思う。
- ・ せっかくアンケートの内容が家庭に配付されたのだから、細かくじっくりと読んで欲しい。

P S Y、幼保小連携モデル校に関して

- ・ 「『食』の学び」の学習では、学校で学んできたことを食事の時などに家庭でよく話をしてくれる。旬や栄養のことなどを学び、身に付いてきているように思う。これからも、健やかな体と豊かな心を育むために、学校と家庭・地域が連携して進めていってほしい。
- ・ 幼稚園や保育園との連携はとても大切である。小1プロブレムを含めて、新入生が安心して生活できる学校づくりを目指したい。交流を通して、自己有用感や自尊感情・コミュニケーション能力を高めて行きたい。

小学校への英語教育の導入に関して

- ・ 19年度、横浜では約120校が英語教育に取り組んでいる。英語学習をしている小学校と、していない小学校の児童が中学に行った時に違いがでてこないか心配である。横浜では21年度から全学年で取り組むことになる。
- ・ 中学校との一貫性や連携もこれからとられるだろう。
- ・ 1・2年生は日本語の使い方さえ疑問だし、子どもたちが乱れた日本語を使っているところが心配である。
- ・ 日本語が出来るようになってから英語を学ぶという考え方もあるが、平行して学ぶことになるだろう。

その他

- ・ 今年の丸小フェスタでは、前日に保護者の参観も可能な時間が設定されているのは良い。
- ・ より多くの保護者や地域の方々の協力を得て、それぞれの立場でそれぞれの役割を果たしていくことで、学校が地域に根付き活性化されると思う。そのためにも、保護者と地域と学校が一緒になって子どもを育てていく活動を展開したい。
- ・ 最近、学校以外の場所で人間関係上のトラブルがあったので、学校の方ではどうなのか心配したが、運動会で子どもが笑顔で元気よく活動しているのを見て、安心すると同時に感動した。